

令和4年度

湖南省公共施設等マネジメント推進委員会

議事要旨

第1回会議

(令和4年 11 月 25 日開催)

湖南省行財政改革推進課

出席者

委員長	新川 達郎
委員	山崎 達也
	清水 明彦
	古市 泰丸
	西山 由記
	福島 由美子

事務局

総務部長	西岡 嘉幸
総務部次長	坂田 晃浩
行財政改革推進課長	森岡 和也
行財政改革推進課長補佐	山元 正樹
行財政改革推進課主任主事	谷口 達哉

開会 午前 10 時 00 分

総務部長

【総務部長挨拶】

ご出席をいただきまして、ありがとうございます。

本市におきましては、人口減少など環境が変化する中で、総合計画に掲げております、まちの将来像の実現に向けて取り組んでいるところでございます。持続可能な行財政運営と健全化のため、建設後 30 年以上経過した公共施設が 50%を超えております本市におきましては、維持管理費を抑制するため、施設の必要性についても検証していかなければならないと考えているところでございます。そのため、今後 10 年間の方向性を示すため、昨年度湖南省市公共施設等総合管理計画個別施設計画を策定させていただいております。本日の委員会では今年度の進捗状況を報告させていただきまして、皆様のご意見を賜り、今後の進捗管理に生かして参りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

委員長

【委員長挨拶】

皆さん、おはようございます。

本年度の第 1 回でございますけれども、湖南省市公共施設等マネジメント推進委員会の開催ということで、本市の公共施設のあり方をめぐりまして、これを適切に進めるべく、私どもも尽力をして参りたいというふうに思っております。

合併以来、行財政改革を進めてきてはおりますけれども、本格的に公共施設のそれぞれの将来というのを見通して、市民の皆様方のご利用や市民サービスの維持ということを念頭に置きながら、これらの施設を適切に維持管理をしていく、場合によっては廃止転用も考えていく、様々な観点でこの公共施設の総合管理ということを考えて参りました。

そして、昨年からはいよいよ本格的に、この個別の施設をどういうふうに持っていくのかということについての施設計画が動き始めたところでございます。

計画ができたのですが、これが本当にうまく動いていくかどうか、本当に適切な計画の進捗というのができているかこのあたりを、今日はぜひ委員の皆様方と一緒に検討してもらえればというふうに思っておりますし、よりよいこうした計画の推進ということができるよう

当委員会としても、検討を重ねて参ればというふうに思っております。
よろしくお願ひいたします。

事務局

【委員紹介】

【事務局紹介】

【会議の成立についての報告】

【会議の公開、会議内容の公表についての確認】

事務局

議題1) 湖南省公共施設等総合管理計画の進捗状況について

【資料1、2に基づき説明】

委員

水戸まちづくりセンターはほとんど利用されていない。非常に使い勝手が悪い。早く市民学習交流センターと複合化していただき、地域の核となる施設にしていきたい。

事務局

市民学習交流センターの方が認知度が高く、施設も広いということがございます。公共施設について面積を減らしていくということを、前提で考えておりますので、複合化して使いやすい施設で使っていただける施設というものを目指していきたいと考えております。

委員

図書館についてですが、健康寿命と図書館の数が相関関係にあるということを知ったことがある。健康寿命が延びれば医療費の削減にもつながっていくので、そういった観点からも図書館は維持していったほうがいいのではないかと思います。

事務局

図書館の統廃合については、以前からの計画であり、類似施設について一旦整理をするという方向性を目標として持っております。委員の方がおっしゃっていただいた図書館の価値ということも検討の部分ではあるというふうに考えておりますので、今後検討してまいります。

委員

水戸まちづくりセンターにしても、石部防災センターにしても市民がより使いやすく、団体も活動しやすいような施設としていい方向で残すことを前向きに検討していただきたい。

事務局

施設をなくしていくだけではなく、利活用できる、価値のある施設を

作っていくということが重要と考えてますので、そちらについても検討しながら進めていきたいと思えます。

議題2) 湖南省公共施設等総合管理計画個別施設計画の改定について

事務局

【資料3に基づき説明】

委員

じゅらくの里について民間譲渡から方向性が変わったのは、民間譲渡する相手が見つからなかったということなのか。

事務局

もともと、地主を中心に民間譲渡を進めていくことを考えていたのですが、実際ご利用されている方が多く、民間譲渡は難しいのではないかと考えたことから、より民間活力を活用した指定管理、利用料金制での運営を目指すこととさせていただいたところがございます。

委員

継続される場合、借地の検討はどのようにしていくのか。

事務局

借地であるという課題は認識しています。借地契約の契約の見直しも含めて、検討が必要であると考えています。

委員

継続できることは、良いことだと思うが、利用が多くても、金額に見合っているのか。他は廃止してるのにここを残すっていうのは、ちょっと不公平さがあるかと思う。

事務局

維持管理の部分の中で借地代が発生しているということですが、なるべく指定管理料において、維持管理経費を市が出さずに、事業者さんみずからに利用を促進していただいて指定管理料を下げられるような検討をしていきたいと考えております。

委員

公園だけを利用する方にも、施設料金を指定管理事業者は考えているのか。

事務局

公園はあくまで自由に使っていただけるということを想定しておりますので、現在のところそういった想定はしておりません。

委員長

木工館であるとか収益型の施設があるが、本来、これらの施設は儲けていただいて、一定の利益を上げた上で、利益は市の方に還元をされる

というのが一般的な指定管理の収益施設のあり方だと思われる。それにより得た利益を借地料なりに充てるということが通常だとは思われるが、どうもそこまでのスキームがあるわけではなさそうなので、財政的な合理性を整理していただきたい。

委員 福祉パーク館は福祉施設ということだが、市の地域福祉計画と整合性はとれているのか。

事務局 福祉パーク館については、設立当初行っていた事業を別の施設でやっており、現状は、公園利用者の事務所と貸館という状態でございます。そのため、地域福祉計画においても、このじゅらくの里福祉パーク館を、念頭に置いた記述はございません。

委員 木工の館とか森林に関する施設がありますが、総合計画との整合性はどのようにしておられるのか。

事務局 従来からある市民の余暇、健康増進、ものづくりを通じての生涯学習、そういった方向性、基本計画の流れに沿った上で、指定管理事業者によって、また新たな利用の展開がなされていくものと思っております。

委員 こういった、じゅらくの里など個別の施設を議論するのであれば、施設の配置図などがあったほうがわかりやすいと思う。

委員 この公園をよく利用するが、近くにあるお店も閉まっていることも多く、この関連施設を利用する機会は今までなかったし、施設としては知名度が低いということや駐車場不足だったり、交通の問題があると思われる。

委員長 指定管理者制度でさらなる活用というのが実現できるか、ここは指定管理者候補者の提案内容や、その実行に期待したいが、市としてもバックアップをし、利用促進をはかっていただきたい。

委員 じゅらくの里で桜まつりをする前は、にごり池公園で桜まつりを行っていた。今のにごり池公園なんかは、ほとんど活用されてないが、湖南市として公園にしてもこの公園には手をかけるなどといった絵をか

かないと、行き当たりばつりの行政にしかならないと思われるが、その辺はどのように考えておられるか。

委員長

公園施設の維持管理というのも公共施設等総合管理計画の中で重要なテーマなのでこの辺りも含めて、現時点で把握しておられることはあるか。

事務局

公共施設につきまして、行財政改革の推進ということで、同様の施設は集約という方向性がありますが、湖南市の重要な施設は、周辺部分に散在しており、地域に住んでおられる方には便利な側面があります。市の方からしますと、集約するには、難しいという相反するところがありますので、そういったところは、公共施設のあり方で、どこまでも議論が尽きないところだと思います。

にぎり池公園のことを出されましたけれども、それぞれの施設について、利用が最大化するように、考えていかなければならないと思っております。

委員長

なかなか難しいが、公園施設については市全体の利用という観点と地域それぞれの地域ごとのご利用ということと両方で考えていかないといけない。

そうは言ってもそれぞれの公園の特徴と特性に応じ、改めて市全体の公園のあり方を考えていく必要があるかと思われる。今後の個別施設の改定の中で、公園についても改めてメリハリをつけた施設管理のあり方というのを検討していただければと思われる。

委員長

それでは本日、公共施設等総合管理計画の特に個別施設計画の改定に当たっての基本方針、一つは、計画変更が決まっているそういうものについての計画の改定、それから、二つ目に進捗が遅れているものについての改定、三つ目に原材料費の高騰などを踏まえ、本当に限られた財源の中で何を優先していくのか、そういう観点での改定というのもおそらく必要になってくるだろうということで、事務局から方針を示していただいた。これに基づき、毎年度改定をきちんとやっていくということと、本年度については、本日の議論を踏まえて、市としての検討をいただいて、当委員会には、年度末辺りに改めてご報告をいただく、そんな手順で進めていかれることになろうかと思うが、計画改定の方向ということで各委員、よろしいか。

委員

湖南省市になっているにも関わらず、未だに施設名にしても甲西、石部というのは出てくるが湖南省という名前は出てこないと感じている。

時代の変化はすごいもので、特に 10 年後 20 年後先なんかわからないっていうところではあるが、やはり、10 年先を見据えて、何かこうしたいというところがあって、これはいらぬ、これは統合しようというところを考えていく。図書館にしても、甲西と石部の二つをそのままというものは、どちらも、とりあえずで雑になってるといえるのか、それを 1 個にして、湖南省の図書館として、進化した図書館にしていくというようなものを行政が描かないといけないと思う。公園にしてもここを生かして、整理しよう、こっちは潰そうというように割り切って、手のかからないようにするというような絵を描くということをやっているといけないと思う。

それから、庁舎問題についても止まっているということなんです、甲賀市も建て替えたし、庁舎というのは一つの市をまとめるシンボルではないかと思うので、そこがまだまとまりきらないところが、両町の課題だと思う。だから、公共施設の名称にしても甲西とか石部とか、そういう名称をどんどんなくしていく観点にやってくるといいような気もするが、どうか。

委員

他の委員の方々がおっしゃっているとおりかと思う。特に、まず、ひとつ良いものをつくるという形が望ましいのではないかとされる。

委員長

今後に向けての大きな展望や方針ということで、ご意見としていただいた。

それでは、本日予定をしていた議事については、以上であるが、各委員からいろいろ意見をいただいた。

当初の計画、これをどう変更していくのかといったことについてやはり、各委員からは当初計画が進まない理由やそれを改定しなければならぬ明確な根拠、それをきちんと示していただいた上で、新たな方針を立てていただくということが必要だということで、少し細かな部分についてもご質問ご意見をいただいた。

また、進捗状況ということについても、それぞれの施設について、各委員から、質問をいただき、計画通り進んでいるということでも、それらが本当に計画に沿って実質的な総合管理マネジメントとしての役割を果たした施設管理になっているかどうかということについては、事

務局でもしっかりと精査をしていって本委員会にご報告をいただきたい。その上で、計画改定をしていこうという場合には、合理的に説明ができる改定計画を示していただく必要がある。

こうした観点を留意していただき、特に改定にあたっては、本委員会での意見を踏まえて、進めていただきたい。

今後の公共施設のそれぞれの維持管理、施設の廃止統合というようなどころまで議論が進んでいるので、この計画に基づいて着実に必要な改定を進めていき、事務局でも、計画の進捗をしっかりとマネジメントをしていただき、当委員会に根拠を明確に示して説明をいただくことになれば、市民の皆様方にもきちんと説明をすることになるかと思うので、そうした方針で進めていただきたい。

事務局

委員長また各委員の皆さんにおかれましては、熱心にご議論いただきまして、ありがとうございました。次第におけるその他の事項ですが、本年度施設使用料の改定を行いましたのでその部分についてご報告いたします。

議題3) その他

事務局

【使用料の改定 公共施設予約システムの導入等について説明】

委員

予約システムの導入ということで、例えば、9時から受付開始でネットも両方一緒であれば窓口に向いて申し込みに行かれる年代の方のことを考えると、ちょっと不公平があるのかなと思ったりするがどのように考えているか。

事務局

予約システムに抽選機能というものがあり、申込のタイミングで不公平感が出るような施設については、そういった機能を活用することを検討しています。

事務局

長時間にわたり、ご議論いただきましてありがとうございました。
これもちまして第1回湖南省公共施設等マネジメント推進委員会閉会させていただきます。
どうもありがとうございました。

終了

閉会 11:30

